



「地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト」 山陽小野田市教育委員会学校教育課

令和7年度 山陽小野田市CSだより 第32号 12月

小中ふれあい授業（高千帆中学校、有帆小学校、高千帆小学校、高泊小学校）

高千帆中学校区の3小学校の6年生が、高千帆中学校で1年生の授業を体験したり部活動を見学したりしました。はじめに高千帆中学校の校歌を教わり、次の生まれた月や血液型による仲間づくりゲームで緊張がほぐれたようでした。続いて、数学や英語、技術などの教科に分かれて小中学生が交流しました。中学生と小学生が一緒に活動したり小学生同士で声を掛け合ったりする場面では、すっかり打ち解けて親しくなっていきました。小小・小中の交流が相互の理解を深め、中学校へのなめらかな接続を図る機会になりました。



オンライン交流会（厚陽中学校）

厚陽中学校の1・2年生が、友好都市モートンベイ市のハイスクールの生徒とオンライン交流会を行いました。始まる前から緊張して練習を繰り返していましたが、日本語が通じることで少し安心してカメラに向かって話していました。好きなものやふだんしていることなどの自己紹介や正月やひな祭りなどの日本の行事について、自分が発した英語が相手に通じたことが分かると、はにかみながらもうれしそうでした。学習したことが生かせたことや初めて英語で会話できたことを実感し、思わず「おー」と歓声が起きました。



もちつき（埴生幼稚園）

「よいしょよいしょ」園児が楽しみにしている毎年恒例のもちつきが埴生幼稚園で行われました。園児が前日に洗って蒸されたもち米をお湯で温めた臼に入れ、両手で杵を握り両足を踏ん張って「ぺったんこ、ぺったんこ」の掛け声に合わせて、全員が交代しながらつきました。「(杵が) おもかっただけど、ほんきをだしてやった」と満足した様子でした。園舎に入って、お餅を手のひらでころころころがすようにして丸めました。「あったかくてきもちいい」とにこっとした笑顔が何とも可愛らしく思えました。



各学校・園・地域交流センター等の地域連携教育や特色ある取組・活動の情報をお寄せください。

スクールアドバイザー 中村達実 Tel82-1188 E-mail : samurai@edu.cty-so.jp